

児童虐待防止のための団体 Children First FUKUOKA 設立趣意書

設立趣旨

児童虐待が止まらない。全国状況を見ると、児童相談所の虐待相談件数は1990年度の集計開始以来、29年連続で過去最多を更新しており、2019年度には193,780件となっている。また、県内の状況を見ても、2014年度には1952件だったものが、2019年度には県全体9211件と激増しており、その中には管内での児童の死亡という痛ましい事件があったことは記憶に新しい。

この状況の中、児童相談所をはじめとする行政機関が懸命に対応しているが、その増加に歯止めがかかっていない。またこの児童虐待については、個人情報との兼ね合いでその状況が見えにくかったり、関係者間での情報共有・協働が上手く図られず、有効な支援がなされていないのではないかという指摘もある。

そういった状況に対し、行政に任せるだけでなく、市民サイドとしてその問題点などを学習しながら、解決策を提示する、また市民でも出来る支援を行うために、この団体を設立する。

目的

○地域から虐待を少しでも減らし、子どもの笑顔を増やしたい。

子育て家庭を支援するなど予防の仕組み作り・子どもの最善の利益へ向けた虐待対応の仕組み作り・状況を知って頂くための広報などを通して、地域を変えたい。

○行政任せではなく、市民としてできることをできる人が行うことにより、地域全体の虐待防止の取り組みを加速したい。

○行政区域に囚われずに地域の連携を作りたい。

事業計画

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 学習 | 3ヶ月に1回以上の勉強会開催 |
| 2 情報共有・情報交換 | MLやSNSを活用しながら。 |
| 3 実態調査・提言等 | 今後検討。 |
| 4 子育て家庭等支援 | できることから、連携しつつ。 |
| 5 市民向け広報 | 講演会（年1～2回）等 |
| 6 その他必要なこと | 他団体の視察など。 |

構成員

地方議員、福祉関係者（保育士、行政職員、民生委員・児童委員等）、医療関係者（医師・MSW他）、教育関係者（教師他）、司法関係者（弁護士他）、その他児童虐待に関心のある全ての方。